



いちごの
市古の
てるみ
いちご
りよだ

日本共産党
市議会議員
(中原区)
市政報告

No.349
2019年1月

(発行・連絡先)
日本共産党
市議会議員団
川崎区宮本町1
川崎市役所内
☎ 200-3360
FAX 245-4140
☎ 511-7592
(平間事務所)

市古議員一般質問 12月市議会

障がい者のグループが市内企業のプールを自力で借り、水泳練習をしています。施設の老朽化で閉鎖すると通告され途方に暮れています。

障がい者がいつでも使える練習プールがほしい…

川崎市にも

障害者スポーツセンターを



借りプールで水泳に励む障害者のグループ

障がい者のグループが年を通じて水泳練習ができるのは、多摩スポーツセンターと市民プラザしかありません。しかし、多摩スポーツセンターでは、期限付きのプール教室、市民プラザは障がい者2団体が、週一回、コースを決めて午後と夜に利用できるだけです。中原区井田のプールは夏だけ、老朽化も進んでいます。当面このグループが継続して練習できる施設確保と、152万人都市の川崎市で

障がい者スポーツセンターの総合事業のホームヘルパー事業は、崩壊するのでないかと思うほどです。

横須賀線の輸送力増強も課題

横須賀線武蔵小杉駅と西大井駅間の乗車率は196%というなか、武蔵小杉駅からの輸送力増強が大きな課題です。

市内中小優先の入札制に工夫を

川崎市の工事請負、物品購入、業務委託の入札は、市内中小業者への発注が原則ですが、競争が必要と高い層マンション供用計画などあり、通勤電車の混雑解消策を求めました。

介護ヘルパーの報酬引き上げを

これでは事業が継続できなくなる、一般競争入札であっても、第三者の評価を入れて、市内業者を優先していく工夫を求めました。

市民とめざす自治体のあり方を考える

党市議団が学習会

中山教授は、国がすすめる国土と地域の再編、大規模開発で乗り切り、アウトソーシングで歳出削減を進める(「自治体戦略2040構想」)では、自治体としての展望がない。そして「市民共同自治体」への展望を語り、新自



中山教授が講演

12月市議会最終日

消費増税反対の意見書

自公などが多数で否決。12月17日開会した第4回市議会定例会の最終日。議案の採決が行われた後、年金者組合から提出された「公的年金の毎月支給を求め

る意見書を国に提出する」請願に、日本共産党は賛成しました。



小杉御殿町
橋本 総

「武蔵小杉の再開発を見直して」と、小杉住民らが市議会に提出していた陳情が、11月の委員会審査された。

再開発による急激な人口増でインフラ整備の遅れが表面化。テレビや新聞等でも頻りに報道され、委員会審査ではどの党派からも、武蔵小杉のまちづくりが限界にきているとの発言が相次ぎました。

市側が「今後は規制も考える」と答弁するなど、市当局も現状を放置出来ない事態と認める場面もありました。しかし、再開発の見直しを求めた市古議員の本会議一般質問に、市長は「交通の利便性や機能性が高く評価されている」と答弁。市民生活の困難を見ようとしない市長の態度には、安倍政治と共通したものを感じます。市議会でもいつも住民に寄り添い議論をリードしてくれたのは共産党の議員でした。市民の声が届く市政を願わずにはおられません。

成人の日 等々力アリーナで祝うつどい」

清々しい若人 一万四千余人



成人式に集まった若人たち(とどろぎアリーナ前)

良く晴れあがった14日、成人の日。川崎市とどろぎアリーナに会場いっぱいの20歳の若人があつまり、「成人の日を祝うつどい」が開かれました。晴れ着を着た成人で華やいだ雰囲気が漂っていました。

川崎市の新成人は14,153人、うち中原区は2,103人でした。お祝いのことばのあと、2人の女性が新成人の声として発言しました。2人ともとても落ち着いて、将来に自分が進みたい希望の道など生きいきと述べました。とても清々しいものでした。

1月6日 等々力緑地で

中原消防出初式

凍とした寒気の1月6日、中原地区消防出初式が等々力緑地で行われました。

去年の火災発生件数は、全市で324件で中原区は45件でした。原因別の1位はたばこ、2位は放火、3位はこんろと続いています。火災による死者は13人で前年比で2人増え、そのうち逃げ遅れが6人、65歳以上が10人、火災による負傷者も7人と、前年と比べて14人増加して



子どもたちも大勢参加して(中原地区出初式)

います。

自然災害も頻繁に起きており、消防力の強化は欠かせません。地域防災のため努力してください。

新しい年2019年。年が明けるとあつという間に時間が過ぎて行きます。

年末ギリギリまで、忙しくしていましたが、元旦の朝はいつものように、私が前日の大晦日に猛スピードでつくった、きんとん、練の昆布巻き、田作り、きんぴら、紅白なます、カズノコの土佐漬、煮卵の入ったサラダなどと、お雑煮を息子家族とともにいただき、新年を祝いました。今年が平和で安心してくらしてい



市古るみ

福祉とくらしの案内

だいJOB(じよぶ)センター相談

市が常設している「生で悩まず、気軽に相談 活自立・仕事相談」の無く大丈夫」と呼びかけて料相談所です。

- 問合せは 同センター 044(245)5120
- 相談は 共産党市議員 044(200)3360

中原区の保育入所 全区で最悪、今年は何?

質の確保も大きな課題

認可保育園の入所が決まる時期となり、申請された親御さんにとっては入所が決まるまで心配です。中原区は昨年4月の保育児童数が837人で他区の2倍以上でした。10月時点でも待機児童数は中原区が断トツ1位です。



NEC Ristra対策会議を結成

あちこちで保育園整備が進められていますが、保育の質の確保も含め、気を緩めることはできません。

NECの黒字リスト ラ許さない

対策会議結成 12月1日

会場いっぱい参加者。NEC Ristraとの闘いの基調報告が行われました。

「6回の早期退職を求められ、追い出し部屋に置かれた」前回のリストラでは15回強要された。いまはリストラの肩たたきはなくなったが、職場で差別を受けている「玉川事業所に残れそうだが、これからどんな仕事があるのか、心配」など、胸に迫りました。

私たち党議員団も、このリストラ問題を繰り返し取り上げ、市長に対し、市民の雇用と人権を守り、地域経済を守る立場に立つて対応するよう求めています。

ける年になりますよう祈りながら、安倍政権が今年も懲りずに、執拗に野望にもえる、憲法改悪の策動を絶対に許さない。消費税増税なんてとんでもない、ですね。

2日から、今年も議員活動開始です。多いのが介護の相談です。ある高齢者のご夫婦、玄関を開けると奥さんが玄関まで来てくださいました。夫は介護が必要と思われるのに、認定受けるのはいやだと申請もしていないといま

す。きつとサービスやヘルパーの訪問などがいやなのでしょう。奥さん困っておられました。申請して認定されれば、手すり等の設置やベッドなどが1割負担で借りられますよとお話ししました。

介護保険を上手に使ってほしいと思います。医療・介護の問題は切実なのに、現実には起きている課題と制度がかみあっていない。もつと当事者に寄り添って対応できる人の支援が必要だと思います。